

人権啓発 コーナー



人権研修のお問い合わせ
 閩人権課 ☎(29)5080

認知症の人の人権を守るには

高齢化が進む日本国内において、認知症の人は年々増加しています。「85才を過ぎると4人に1人が認知症になる」とも言われており、認知症は私たちにとって身近なものとなっています。

そんな中、昨年6月には、認知症の人ができる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けられることを目指し、認知症施策推進大綱が取りまとめられました。この大綱では「共生」と「予防」がキーワードになっています。

共生とは、認知症になっても尊厳と希望を持って認知症と共に生きる、認知症がある人もない人も同じ社会で共に生きていく、ということ。予防とは「認知症に

ならない」という意味ではなく「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」ということです。

認知症になると、記憶力が低下し失敗が増えることから、周囲の人は「認知症だから仕方ない」「あの人は変わった」などと思ってしまうがちです。しかし認知症になった人も、人として当たり前に行っている「自分らしく生きたい」「人の役に立ちたい」という思いやプライドは持ち続けています。

認知症の人の人権を守るためには「認知症だから」とひとくくりにするのではなく、認知症について正しく知り、同じ社会で共に生きていこうとする姿勢が大切です。

市民健康スポーツのつどいに遊びに行こう！

市民健康スポーツのつどいスポレクフェスタの体験コーナーを紹介



昨年の体験ブース「ストラックアウト」の様子

放映：9月28日(月)
 ～10月4日(日)



5人以上で気軽に参加できる職場仲間の部や国際交流の部などがある

日米親善リレーマラソンを開催します！

12月6日に開催予定の日米親善リレーマラソンについて紹介

放映：10月12日(月)
 ～18日(日)

広報番組

CATV「アイ・キャン」11ch

岩国市政番組 かけはし Kake-hashi

※放送時間は、EPG(リモコンの番組表ボタンで操作)で確認してください
 ※番組編成の都合により、急きょ放送日時や内容が変更になる場合があります

過去の市政番組は、市ホームページから
 見ることができます

